

# 平成25年度 村上市図工部 活動報告

部長 星野 桐子 (西神納小学校)

## 1 研究主題

創造することの楽しさを感じることができる指導の在り方

## 2 研究の概要

会員の指導力の向上を図る研修の実施

## 3 研究の実際

(1) 日時 平成25年8月6日 (火)

(2) 会場 村上市 生涯学習推進センター 創作室

(3) 講師 新潟県立近代美術館 学芸課 課長代理 佐藤 久美子 様

(4) 参加者 11名

(5) 講義・実技内容

・鑑賞について

・様々な表現技法を学ぼう

～鑑賞をもとに広げる絵画指導～



### 〔鑑賞について〕

鑑賞では、感じたことや思ったことを話したり、友達と話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違い等をとらえて、作品のよさや美しさを感じ取る指導が大切である。とくに〔共通事項〕の視点を重視していく。

鑑賞の際の指導者としてのポイントは、正解が1つではない問いかけをするということである。例えば、「何が見えますか。」「季節はいつでしょうか。」「時間はいつごろでしょうか。」「場所はどんなところでしょうか。」という具合である。この問いに対して、一人一人が感じ取ったことを言葉で表現する。それを仲間が肯定的に受け止める。違ふとらえに対してなぜそう考えたのか、もう一度作品をじっくり鑑賞したくなる。そうやって他者と意見交換をすることで、自分一人では気づかなかった価値に気づく。このことが造形活動とも大きく関わってくる。

### 〔様々な表現技法を学ぼう～鑑賞をもとに広げる絵画指導～〕

講師の佐藤様より様々な技法を紹介していただいた。どの方法も、様々な色・形・材料と接する中で、「創作が楽しい」と思えるようなものであった。

#### 1 コンテを使って



ステンシル風に

削った粉をぼかす

#### 2 墨を使って



濃淡を使って描く

#### 3 共同制作



全判画用紙に思い思いに色をぬる。

## 4 成果と課題

- 表現したいものを表現したいように描くためには、様々な技法を体験し、自分で自由に使えることが大切である。様々な技法を子どもに体験させるためには、教師自身の技法の蓄積が不可欠である。今回の講習会は、そのよい研修の場となった。
- 学んだことを授業の場で生かすために、研究授業の場を設けるとより有効であった。